

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果、

事業所名	デイサービス にこここ庵		公表日		令和7年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		キッズスペースを設けてい	安全確保に努める
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		少人数であり十分な指導が出来る 人員基準に加え、加算有権を満たした人員配置を行っています。	送迎も含め、スタッフの確保に努める
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー基準を満たした設備になっている。	利用者の活動に合わせた配置を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		朝、夕の掃除に加え、随時の環境整備に努めています。	様々な活動を広げるための配置を検討していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		キッズスペースに加えて、相談室を設けています	安全対策を検討する等、課題を検討していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼や振り返りを行い、職員のミーティングを行っています	情報の共有を強化していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート調査を行い、結果を職員内でも共有し、業務改善につなげています。	送迎時などを含め、ご意見をしっかり把握していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝の朝礼、会議等で意見交換を実施しています。	全スタッフの意見でできる場を設けていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、保護者の方の評価と社内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討します。	第三者の意見を取り入れる様に努める
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間計画を立て、内外部の研修参加をしています。	法定研修以外にも、必要に応じた研修を実施していく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切な期間に、支援プログラムを作成し、公開しています。	保護者様にも、個別の支援を公表してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		サ担会議、アセスメントのほか、面談や連絡帳でのやり取り、お子様の日々の様子からニーズをくみ取り個別支援計画を作成しています。	利用者様のニーズに合わせた計画を作成してまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ全員で話し合い、共通理解での検討会を行っています。	日々の支援の中で、新たなニーズを検討してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画にもとづいての、職員共通認識での支援を行っています。	職員間での確認しながら行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		サ担会議、アセスメントのほか、面談や連絡帳でのやり取り、お子様の日々の様子からニーズをくみ取り個別支援計画を作成しています。	保護者、相談支援、他事業所の情報などから、確認してまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		サ担会議、アセスメントのほか、面談や連絡帳でのやり取り、お子様の日々の様子からニーズをくみ取り具体的な支援内容を記載しています。	他事業所等と連携しながら考えて行ってまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々の活動計画は、複数の職員でチェックし、作成しています。	特定の職員ではなく、会議等で話し合っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々の活動計画は、複数の職員でチェックし、作成しています。	特定の職員ではなく、会議等で話し合っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別で行う活動を主にしていますが、お子さんに応じた過ごし方ができるように工夫し、個別支援計画を作成しています。	朝礼、支援後の振り返りを行い確認してまいります。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼での支援内容の打ち合わせ、分担、支援の振り返りを行っています。支援について意見交換し、次の支援につながるよう、記録をとっています。	特定の職員ではなく、会議等で話し合っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			支援の振り返りを行っています。支援について意見交換し、次の支援につながるよう、記録をとっています。	朝礼、支援後の振り返りを行い確認していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援の振り返りを行っています。支援について意見交換し、次の支援につながるよう、記録をとっています。	朝礼、支援後の振り返りを行い確認していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、保護者からの意見を聞き取り、適切に見直しを行っています。	朝礼、支援後の振り返りを行い確認していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		外出の機会や、作業の課題、余暇における政策活動などをおこなっています。	基本活動を意識しながら、色々な活動を行っています。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		出来る限り、自己決定できるように急がず、言葉で伝えるまで待つようにしています。	選択肢を増やす事が出来る様に工夫しながら支援してまいります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理制帰任者と担当者が参加しています。	担当職員に限らず、状況が理解できるようにしていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関があり、自社にて訪問看護事業があります。学校との連携の為、定期的に訪問しています。	連携は課題としています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校とのメールや携帯を登録しています。お迎え時に引継ぎを行っています	保護者様よりの情報が中心です。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		高等部の利用者様とは、他事業者、相談支援センターとの連携を行っています。	小さなお子様ご利用時には、行ってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		見学等行わせていただき、情報など提供しています。	お互いに情報を共有する事で、今後のつながりを深めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現在はおこなっていません	今後の課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在はおこなっていません	今後の課題です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		定期的に参加しています。	他事業所との情報、つながりを行っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時などその日の、状況、課題、支援内容をお伝えしています	お話出来る機会を増やしていきます。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援を求めておられる方は、ほとんどいない	研修の機会を増やしていきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や変更があった時には説明して、同意書にサインをいただいています。	丁寧に説明してまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時や面談にてお話しを通じて意向の確認をおこなっています。	お話出来る機会や研修を増やしていきたいと考えています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画を説明しながら、同意を得ています。	丁寧に説明してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		子育ての悩みと言うより、将来についての相談があります。わかる情報をお話しています。	事業所からお尋ねするようになっています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		こちらで用意する事は、行っていません	今後の課題とします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの意見はよく聞くようにしています。出来る限りの対応はしています。	苦情は大切な意見です。職員で共有しながら改善してまいります。

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、ニュースレター発行を行っています。随時SNSやHPでの発信を行っています。	今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報について、十分に留意しています。	十分に留意していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者との情報のやり取りは、行っています。意思の伝達は、お話出来るように、配慮しています。	事業所からお伺いするように配慮していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		みんな食堂を開催していましたが、コロナにて、休止中です。	地域との交流を目指していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル、訓練は行っていますが、スタッフでの周知になっています。	ご家族にも発信できるようにしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しており、訓練も個なっています。	今後、様々なことを想定して改善していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者さんのお話で発作や服薬情報を共有しています。	研修等で、症状を学んでいきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのお子さまはいませんが、情報をもらえるようにしています。	研修等で、症状を学んでいきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しています。	必要に応じて研修、訓練を行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	安全計画を作成しています。ご家族には周知出来ていません	ご家族にも周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットは、事業所内で共有して、再発防止に取り組んでいます。	積極的に行っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修を行い、防止に取り組んでいます	積極的に行っていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の研修を行い、取り組んでいます。現在は、必要ある利用者はおられません	状況に応じた対応ができるように取り組んでいきます。